

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業) : 広島県東広島市

概要

東広島市は、平成17年2月に近隣5町と合併し、人口分布や高齢化率の程度の異なる地域を抱えている。合併前の旧市町における公共交通施策の状況は、福祉バスやタクシー助成券などを引き継いで実施しているため、地域間でサービスの差異が生じている。また、本市は多くの大学や研究機関が拠点を置く学園都市であるとともに、電子部品や自動車関係企業も多いことから、全国各地から本市への来訪者も多数あるところであるが、交通のターミナル機能を有する広島空港、東広島新幹線駅から市内中心部までの交通アクセスが十分とは言えない状況であり、また、市内の交通網についてもより一層の利便性の向上が望まれる状況である。

上記の現状を踏まえ、市全体の望ましい公共交通体系の構築に向けた全体計画の策定を行うとともに、その中で特に公共交通空白・不便地域における移動の確保、地域間格差の軽減、広島空港、東広島新幹線駅から市内中心部までの交通アクセスの充実、市内の交通網の利便性の向上については、実現のための具体的な事業・施策の計画策定を行う。

○地域公共交通の概要

- ・4条バス路線(芸陽バス、JRバス)
- ・みなし4条バス路線(福富町における地域公共交通:ふくふくしゃくなげ号)
- ・スクールバス(豊栄町、河内町)
- ・福祉バス(豊栄町、安芸津町、河内町)
- ・JR山陽本線、呉線 など

○地域公共交通の課題

- ・公共交通空白・不便地域における移動の確保
- ・地域間格差の軽減
- ・新幹線駅、空港アクセスの強化
- ・地域内路線の効率化
- ・広域路線と地域内路線との連携強化
- ・市街地移動サービスの充実

○調査事業の主な内容

- ・地域内移動サービスの検討調査
- ・市街地移動サービス検討調査
- ・空港・新幹線駅への移動サービス検討調査
- ・地域公共交通総合連携計画の検討・作成 など

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想 (予定)

- ・主に旧町における地域内移動サービスの導入・見直しの検討
- ・大学・産業団地から空港、新幹線駅までのアクセス向上の検討
- ・市街地移動サービスの改善検討
- ・わかりやすい公共交通情報の提供(バス路線図、時刻表の作成等)及び市内広域バス路線と地域内路線の結節点の環境向上に向けた検討
- ・公共交通の利用促進策の検討 など

